令和６年　11 月　20 日

(宛先)上越市議会議長

令和　年度　行政視察報告書

会派・代表者名又は議員名

櫻庭節子

１ 視 察 日

令和　６年　10 月　10 日（木）

２ 参 加 者

石田裕一、櫻庭節子

３ 視 察 先

・名　　称： 多賀城市役所

・住　　所： 宮城県多賀城市中央２丁目 1-1

・人　　口： 61,821 人

・面　　積： 19.69km²

４ 視察の目的

・今年創建千参百年を迎える多賀城市の取り組みを視察

５ テーマ等

・来年迎える「第 100 回謙信公祭」、また近づくご生誕 500 年記念等への準備に向けて、歴史文化をテーマに創建 1300 年を祝う多賀城市の取組等から参考となる取り組みを学ぶ。

６ 現 状 等

多賀城跡は平城宮跡（奈良県)、大宰府跡（福岡県）とともに日本三大史跡に数えられている。令和６年８月 27 日に重要文化財多賀城碑が国宝に認定され、市内出土の文字資料の一部が重要文化財に指定された。西暦 724 年に創建され陸奥国府が置かれた「多賀城」は宮城県の県名の由来の一つとも言われている。令和６年に創建 1300 年と言う記念すべき日を迎える多賀城市では、11 月１日に記念式典を行う為の準備に追われていた。

「多賀城創建千三百年記念式典」：古代の行事や儀式を再現し、陸奥国府多賀城の起こりを「naturally な色と音の世界」を通じて表現するアーティスティックなプログラムが盛り込まれる。 https://tagajo1300.com/

1) F-2 展示飛行
2) 開式宣言
3) アートプログラム／「陸奥国府 多賀城の起こり」
4) 来賓祝辞
5) 主催者挨拶／「先人への感謝と未来へのバトン」
6) メッセージ／「日々のよろこびふくらむ未来に向けて」
7) フィナーレ
8) 閉式宣言

7 視察概要

・多賀城市役所にて、多賀城市議会副議長より本事業の概要の説明を受け、その後多賀城市の現状に関しても説明を受ける。多賀城市は仙台市と観光地松島の中間に位置していて仙台市のベッドタウンとしての性格がある。人口は少ないながら大変にコンパクトに街づくりができている。駅前には前市長肝いりの多目的市立図書館があり、学生たちにより活用されている。

・夕方、多賀城史研究家でこの度の多賀城碑国宝認定に寄与された國學院大學特任教授の上野誠氏を迎えた懇親会に参加する。地元多賀城市議会議員の有志の皆さんと 1300 周年記念式典実行委員会の皆さん、更に日本三大史跡に数えられる大宰府からも議員団が参加されて、歴史と文化を飾る一大式典にふさわしい熱の入った議論をさせていただく。

・翌朝、多賀城史跡とこの度の式典のモニュメントとして建立された南門を視察。丘の頂上に向かって、当時の使節団が多賀城主に拝謁するために南門から丘を登った道をたどる。

8 当市導入の可能性の考察

・今回の式典に際して復元建立された南門からまっすぐに伸びた城址への道は大変趣がある。平素は公園として子供連れの親も訪れるが、南門の復元により当時のイメージがしやすくなった。平素から日本三大史跡の町として三都市が交流していることによる盛り上がりも効果を上げている。上越市における謙信公祭においても甲斐武田家との繋がり、米沢上杉家との繋がりを強化して協力して祝うように更なる努力が必要だと感じる。

・多賀城市議会は現市長の深谷晃祐氏を輩出した議会であるためか、市長と議会の協力体制が強く感じられた。市民と議会、市長の協力体制が上越市の今後の課題であ

多賀城市役所

多賀城創建記念

STARBUCKS COFFEE

OPPO Reno5 A

OPPO Reno5 A

政宗が育んだ“伊達”な文化 The “DATE Culture” Fostered by Masamune
多賀城碑 / 壺碑（つぼの石ぶみ）
Tagajo Castle Monument / Tsubo no Ishibumi
（国重要文化財 / 国名勝）
奈良時代に多賀城の修造を記念して制作された石碑です。2代藩主伊達忠宗の頃に土中から発見されると、西行や源頼朝が和歌に詠んだ歌枕ゆかりの地「壺碑」と関連付けられ、有名になりました。それにより、当時の文化人や学者の注目を集めるところとなり、仙台藩や民間の俳諧師により保護顕彰されてきました。江戸時代にここを訪れた松尾芭蕉は、時間とともに変わりゆく歌枕の中で、多賀城碑だけが昔からの変わらぬ姿を留めていることに感動したことを、『おくのほそ道』に記しています。
This is a stone monument made to commemorate the repairing of Tagajo Castle in the Nara period.This monument became a popular poetical subject, with which master poets including Saigyo and MINAMOTONO Yoritomo composed Japanese poems about it. Upon the discovery of the Tagajo Castle Monument, this monument was considered to be the legendary “Tsubo no Ishibumi” and gathered attention of intellectuals and scholars at the time. MATSUO Basho wrote about how deeply he was moved to see this monument remaining the same as the time of its creation, compared to other poetry-inspiring subjects that change over time.
江戸時代に描かれた絵図（『奥州名所図会』）
OPPO Reno5 A